

【放送大学千葉学習センター／インタビュー】 新所長に聞く、放送大学で学ぶことの意義と学びの環境



放送大学 千葉学習センター 所長／片岡 洋子 氏



今回は、2022年4月から千葉学習センターの所長に就任した片岡洋子氏をインタビュー。30年以上にわたり千葉大学でジェンダーや教育学を研究してきた片岡氏の経歴を振り返りつつ、放送大学に着任した現在の心境などを伺った。

子供時代の経験がジェンダーを意識するきっかけとなった

2021年10月から「ジェンダー・セクシュアリティを考える」をテーマにしたミニゼミを担当している片岡洋子氏。ミニゼミとは、文学、外国語、音楽、歴史、生物など各分野に特化したテーマについて、少人数のディスカッション形式で行う授業だ。

「放送大学には幅広い世代の学生さんが在籍しています。過ごしてきた時代背景や経験によって物事の捉え方、考え方が違うわけですから様々な意見が飛び交い、とても深いディスカッションができると実感していますね」と振り返る。

片岡氏がジェンダーを研究するようになった原点は子供時代にある。1955年に福島県双葉郡富岡町で生まれた片岡氏は幼少期に父親を亡くし、母と妹3人で暮らしていた。「母は実家近くで小さな書店を経営していましたね、私も子供の頃はよくお店番をしていました。昭和30～40年代の田舎というと、女だけの母子家庭は何かと大変なことが多くて」。多感な10代の頃には既に女性の生きづらさを体感していたそう。地元の高校を卒業し、東京都立大学の人文学部に入学。その後の人生を捧げた教育学と出合うこととなる。

教育学と出合い、やがて80年代の若者文化を研究

「人文学部には社会学、歴史学、心理学など10専攻がありましたが、私は教育学を選びました。というのも、教育系のサークルで地域の子供たちと交流していたので純粋に興味を持てる分野だったのと、生活綴方教育を知ったからなのです」と語る片岡氏。

戦前の国語教育課程にあった綴方科をベースにした生活綴方教育は、日常生活のなかで目にしたこと聞いたこと、感じたことをありのまま自分の言葉で綴っていくもの。リアルに体験した出来事を文字にしていく作業は表現力や考察力の向上につながり、物事をより深く考える力を身に付けられると広がった。「生活綴方教育は東北地方がとくに盛んで、戦前は日本各地で行われていました。ですが、戦時中は『非国民をつくる危険な教育だ』と弾圧されてしまうのです」。大学4年をかけた生活綴方教育について勉強した片岡氏は、より広い研究を行うために修士、博士課程へと進んだ。

大学院に進んだ1980年代、片岡氏の研究範囲はティーンエイジャーの間で話題のアイドルや音楽、果てはサブカルまでと、じつに多様化していった。「あの時代の若者たちって、メディアやカルチャーを通して自分の生き方を表現していった世代なのです」。若者文化の中心地だった原宿に出向き、竹下通りを行き交う女子中学生や高校生たちをインタビューするうち、10代女性の抱える性や人権などの問題にも興味が出るように。当時、日本でも少しずつ認知され始めていた“ジェンダー”を意識するようになっていった。

自身の知り合いも資格取得のために在籍していた放送大学

東京都立大学大学院の博士課程から、片岡氏が千葉大学に就職したのは1990年のこと。ほどなく出産を経験し、ジェンダーや人権教育についての研究に没頭していった。「前所長の長澤先生とは千葉大で知り合いまして。お互いの研究分野が近いこともあって、気が付けばもう30年以上のお付き合いです」。今回、千葉学習センターの所長に就任されたのも、長澤成次氏との深い縁を感じることから。

以前から放送大学の学生との接点もあったという片岡氏。「放送大学には単位互換制度というものがあるのです。他大学の講義を放送大学の卒業単位にカウントできるシステムで、私が千葉大でジェンダー論を教えていた時にもよく放送大学の学生さんが来ていました。皆さんとても意欲的で、学ぼうという思いが強い印象でした」。実際に片岡氏の周囲でも、「私が放送大学に勤めることになったと知人に話したら、『実は私も放送大学に通っているんです』って。その方は高校教師で、別の科目の専修免許を取得するために放送大学修士課程に進学していたのです。学び直しだけでなく、資格を取るためやご自身の知見をもっと深めるためなど、放送大学はあらゆる“学びたい人”に門戸を開いているのだと知りましたね」。



ウィズ・コロナ時代に必要なオンライン授業を拡充

未だ終わりの見えない新型コロナウィルスの感染拡大。放送大学では対面式の面接授業に代り、Zoomを活用したオンライン形式授業「WEBライブ授業」の導入を早急に進めている。「試行的にはありませんが、東京の渋谷学習センターでは既に本格始動しています。通学時間がなくなるなどのメリットもありますからね。ここ千葉でも来年度2学期からWEBライブ授業をスタートさせようと準備しているところです」。

卒業単位として必須の面接授業20単位分がWEBライブ授業にも適用されることになっており、今後は学生の間でもオンライン授業へのニーズが高まると予想される。時代や環境の変化とともに誰もが学びやすい環境づくりを。これが片岡氏はじめ放送大学千葉学習センターの切なる思いなのである。

最後に、放送大学への入学を考えている読者に向け、片岡氏からメッセージをもらった。「ご自身の目的に合わせて最適な学問を選択できる。それが放送大学の一番の魅力と思っています。お仕事に必要な資格がある、年齢を重ねて歴史に興味湧いてきたなど、学びの動機は十人十色です。実際にいろいろな分野で経験を積んできた方々がここで毎日学んでいます。『知りたい』『深く考えたい』という思いは学問の第一歩と、教育学を長年研究してきた私はそう思います。興味のある方はぜひ資料請求していただきたいですね」。



<プロフィール>

片岡 洋子／かたおか・ようこ

1955年、福島県双葉郡富岡町生まれ。1990年より千葉大学にて教鞭をとり、長年にわたりジェンダーや教育学などを研究。2022年度より放送大学千葉学習センター所長・特任教授に就任。千葉大学教育学部名誉教授。

(文 吉岡啓雄)

サークル活動(学生団体)に参加しよう



千葉学習センターでは、心理学、音楽、古典文学、語学、スポーツ、美術などをテーマに多くのサークルが活動しています。



通信制大学の学習は孤独になりがちといわれますが、サークル活動に参加して共に学ぶ仲間を見つけませんか。

(裏面参照)

学生教育研究災害障害保険

■学生教育研究災害傷害保険とは「加入者である学生が教育研究活動中に被る事故に対する保障を目的とした保険」です。
 ■放送大学のすべての種類の学生が加入することができます。
 ■保険金額は学生教育研究災害傷害保険が100円(6年間有効)です。通学特約はプラス40円(同)です。
 ■放送大学で授業となるとあまり頻度は多くありませんが、ゼミへの参加や面接授業、そして研究のためのフィールドワークに資料収集など研究活動を広く行うことがあると思います。
 ■加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申し込みください。

面接授業 実施時間

1時限	9 : 5 0	～	1 1 : 2 0
2時限	1 1 : 3 5	～	1 3 : 0 5
3時限	1 4 : 0 5	～	1 5 : 3 5
4時限	1 5 : 5 0	～	1 7 : 2 0



講演会の予定

2022/11/27(日)
 「珠玉のヴァイオリン名曲集-西洋音楽の歴史を辿る-」
 伊藤誠 (放送大学千葉学習センター客員教授)
 浜中康子 (国立音楽大学他 非常勤講師)

2022/12/17(土)
 「性的同意と刑法改正(仮)」
 後藤弘子 (千葉大学大学院社会科学研究院教授)

2023/1/14(土)
 「社会教育・生涯学習入門」
 長澤成次 (元放送大学千葉学習センター所長)
 ※お問い合わせは千葉学習センター窓口まで

心理学
Psychology

カウンセリング研究会

<大学公認団体>

内容：毎月の定例会ごと、単発のテーマを設定し学習。机上の学習だけでなく、演習を重視。また不定期で展覧会等の見学、座禅等の体験学習機会を設けている 活動日：毎月1回日曜日14:00～17:00 会員数：15名程度 会費：年会費無し 連絡先：福森 happyforest21c@gmail.com



心理臨床研修会

<大学公認団体>

内容：創作コラージュ療法を中心に毎月定例研修会を開催し心理学の学びを深める一方、卒業まで仲間と語らい楽しく学ぶ場を提供。ぜひ一度一緒に体験を！ 活動日：毎月第2日曜日及び第4土曜日に研修会 日曜日10:30～17:00 土曜日9:30～16:30 会員数：約50名 会費：研修会区分に応じた額 連絡先：岡村 090-3475-7241 FAX:050-3586-8773 t-okamura@dream.jp

外国文化
Foreign Culture

スペイン語友の会

<大学公認団体>

内容：毎月の例会では、柳沼先生（神田外大・前副学長）によるスペイン語文法の特別講義、および会員間での小説の講読・スペイン語の映画鑑賞を実施しております 活動日：曜日（第2火曜日）13:00～16:00 会員数：15名程度 会費：入会金：2,000円、参加費：1回1000円 連絡先：末富 080-4095-5735 qui.suetomi@gmail.com



2015.10.11 千葉学習センターの輪舞（当日参加のスペイン語友の会会員）



タンパク質紳士淑女録

内容：木村千葉大学名誉教授を顧問として、健康及び病気について講義・自主発表・輪読の活動をしています。

活動日：毎月第3水曜日14:00～16:30、現在はSkypeによるWebサークルを実施中 会員数：13名 年会費：1,000円 連絡先：伊草 igs.oowada1121@ae.auone-net.jp

美術
Art

書道クラブ 翠乃会

内容：活動目的：書道の研鑽を通じて書への理解を深め、会員相互の親睦を図る。活動内容：書の修練（楷書、行書、草書）中国の書跡・日中書道史の研究（臨書） 活動日：原則、毎月第1火曜日10:00～12:00 会員数：11名 会費：三か月分 5,500円（教材費込み） 連絡先：大川内 nana1003po@yahoo.co.jp



若葉スケッチ会

<大学公認団体>

内容：野外に出掛けて、水彩画のスケッチを楽しみ、作品は、千葉学習センターに展示しています。年1回合宿旅行（2泊3日）でパワーアップ 活動日：毎月第1金曜日10:00～16:00頃 会員数：20名（うち女性11名） 会費：年会費1,000円 連絡先：石田 047-454-7304 yuchy_ishida@yahoo.co.jp

木彫会

内容：木彫による仏像づくりをしています。日々のうつろいの中である日ふっと仏像を作りたいと思ったことがあります。ある女性の活動歴は4年目です 会員数：7名 会費：なし 連絡先：田中 090-8841-5700 ohta2@jcom.zaq.ne.jp

音学
Music

アンサンブル倶楽部

内容：千葉学習センターラウンジにて年数回ランチコンサート。使用楽器リコーダー（ソプラノ、アルト、テナー）フルート、ピアノ、バイオリン等 活動日：月2回（平日又は週末） 会員数：10名 会費：なし 連絡先高橋：080-5009-2400



千葉合唱サークル（混声合唱）

<大学公認団体>

内容：合唱で大きな声を出して歌うことの楽しさを味わいませんか。老若男女、放送大学の学生の方なら誰でもお待ちしております。活動日：毎月第1、3日曜日13:00～15:30 会員数：16名 会費：2,500円/月 連絡先：sakuma1146@nifty.com HP：放送大学千葉合唱サークル



スポーツ Sport

テニスサークル
テイクバック

<大学公認団体>

内容：両曜日とも、午前中は基本的練習（ストローク、スマッシュ、サーブ等）午後は試合 活動日：毎週水曜日、金曜日9:00～16:00 会員数：27名 会費：月400円 連絡先：国吉 090-1544-1912

テニス同好会 若葉

<大学公認団体>

内容：テニスの上手な方から、それなりの方まで、約1時間は真剣に練習、約2時間は和気藹藹の雰囲気の中でゲームをやっています 活動日：毎週土曜13:00位～16:00位 会員数：16名 会費：年間1,000円 連絡先：嶋田 masa.shimada50@gmail.com



ソフトボールクラブ

<大学公認団体>

テニスクラブコスモス

<大学公認団体>

内容：未経験者が多いですが楽しく練習しています。千葉県ソフトボール協会の3部リーグに加盟しており春と夏の公式戦、テニスを通じて会員相互の親睦と体位の向上を合もあります 活動日：毎週土曜日と日曜日、10:00～12:00 会員数：18名 日会員数：28名 会費：年会費2,000円 連絡先：菅藤 hiro_kanto@mvp.biglobe.ne.jp

内容：未経験者が多いですが楽しく練習しています。千葉県ソフトボール協会の3部リーグに加盟しており春と夏の公式戦、テニスを通じて会員相互の親睦と体位の向上を合もあります 活動日：毎週土曜日と日曜日、10:00～12:00 会員数：18名 日会員数：28名 会費：年会費3,000円/年 連絡先：岡部 okakatu3@yahoo.co.jp



古典 Classic



古文書を読む会

<大学公認団体>

内容：近世の武士日記を題材に古文書講読を行います。文章内容が率直で面白く挿絵も楽しめ又歴史資料としても貴重なものです。他に「江戸歩き」日記の現場検証や日記を書いた武士の地元調査などを行います。写真は神楽坂から四谷見付までを探訪した際のものです 活動日：毎月2回（第一・第三火曜日）に講読会 月1回（適時）に「初心者会」など 会員数：約20名 会費：入会金1,000円 会費4,000円/年 連絡先：野口 090-1464-4501 akira.noguti@honey.ocn.ne.jp

コミュニティ Community

海洋クラブ

<大学公認団体>

内容：海の楽しさを紹介します。クルージング、SUP、海釣り、料理教室、南房総マリーナ宿泊、勉強会等 活動日：月1回以上＝事前に活動計画をお知らせします 会員数：15名（内女性2名） 会費：3,000円/年 活動によって別費用あり 連絡先：木下 tesshu73@gmail.com



シニアライフ研究会

<大学公認団体>

内容：毎回担当会員が1時間前後のプレゼン、その後白熱の討論（古今東西、森羅万象を議論する楽しく愉快で有益な会）他に経済研究会など分科会開催 活動日：毎月第一月曜10:00～16:00 会員数：21名 会費：2,000円/年 連絡先：鳥羽 htoba@green.ocn.ne.jp

囲碁クラブ

<大学公認団体>

内容：対局を主体とし初心者には個別に指導 活動日：毎週木曜日 会員数：21名 会費：年会費1,000円 入会金1,000円 連絡先：桑原 masatkuw@mtj.biglobe.ne.jp

千葉コンピュータユース

<大学公認団体>

内容：パソコンの知識と操作技術の向上を目指し、日々努力と研鑽を積んでおり、パソコンを通じ充実した時間を楽しむと共に会員相互の親睦をはかること 活動日：月2～3回（13:30～15:30） 会員数：12名 会費：年間6,000円（6ヶ月3,000円） 連絡先：中込 043-278-5126 y-nakagome@rose.plala.or.jp



放送大学千葉同窓会

<大学公認団体>

内容：①通常総会 ②研修・親睦小旅行 ③卒業研究・修士論文発表会 ④語ろう会 ⑤会報発行 ⑥放送大学叢書販売・バッジ販売 ⑦同窓会連合会事業へ年間通じて参加・協力 活動日：第2火曜日（変更もあり）10:00～12:00 会員数：1,049名 会費：①卒業生会員（終会費12,000円） ②特別会員（センター職員、職員OB 終会費12,000円） ③在学生会員（初年度2,000円入金➡終会費12,000円まで次年度から1,000円×10回払） 連絡先：小滝 047-339-9325

